

第 四 問

(満点 100 点)

第三問とあわせ
時 間 2 時間

下記の問に答えなさい。

- 問 1** 研究開発費について、資産計上を認める説と認めない説がある。それぞれの理論的な根拠を述べなさい。また、資産計上を認める場合の資産の分類について説明しなさい。
- 問 2** 税効果会計の方法として資産負債法と繰延法がある。両者の内容を簡潔に説明し、繰延法を適用する場合の問題点を指摘しなさい。
- 問 3** 注生生産で製造された製品が、発注先の都合等により、期末日現在で未出荷のまま売上計上される場合がある。これを在庫売上という。その売上の計上が認められるための具体的な要件としてどのようなものが考えられるか述べなさい。
- 問 4** 当社は、大型土木建設機械について、定期点検時に行われるオーバーホールの費用額を見積り、その当期負担分を引当金に計上してきた。今期から、機械の利用効率を高める目的で、定期点検時に新たに GPS(衛星通信を利用した位置確認装置)を設置することとした。その設置費用を見積り、当該引当金に追加計上する会計処理の適否について述べなさい。